

北区 区ビジョン基本方針

区の概要

《地理》

北区は阿賀野川以北に位置し、旧新潟市の北地区、旧豊栄市、旧横越町の一部で構成されています。区内は、福島潟などの湖沼、阿賀野川などの河川、海岸線の白砂青松や田園風景など、豊かな自然環境を有しています。また、区内にある国際貿易港新潟東港は、本州日本海側最大の貨物取扱量を誇っています。

《産業》

新潟東港を中心とした県下最大の新潟東港工業地帯は、日本海側における工業拠点、対岸貿易の玄関口としての役割を果たしており、周囲の恵まれた高速交通網を活かした生産活動が活発に行われています。また、農業分野で、稲作をはじめ、砂丘園芸、ハウス園芸など高い評価を受けています。特にトマト、なすは県下一の生産量です。

《交通》

主要な道路は、日本海東北自動車道、国道7号、国道113号が東西に通じ、県道、市道と結ばれています。鉄道は、幹線道路と平行してJR白新線が通っており、4駅が設置されています。バスは、市の中心部及び新発田方面へと運行されています。

基本計画

1 総論

2 重点プラン

3 施策別プラン

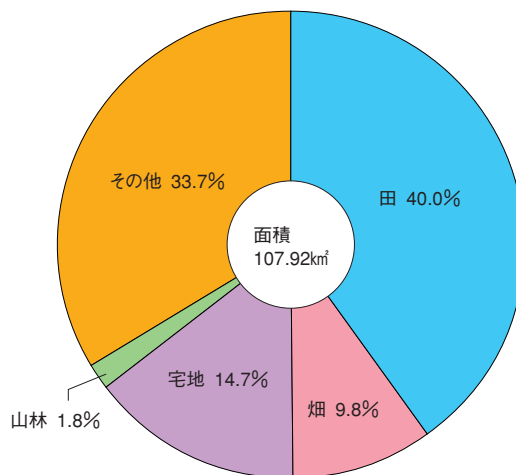
4 区ビジョン基本方針

《基礎データ》

項目	北区	
人口	総人口(人)	78,173
	男(人)	37,808
	女(人)	40,365
世帯数(世帯)	24,492	
農業	農家戸数(戸)	2,130
	農家人口(人)	11,126
	経営農地面積(a)	463,770
工業	事業所数(所)	213
	従業員数(人)	6,516
	製造品出荷額等(億円)	1,803
商業	商店数(店)	776
	従業員数(人)	4,799
	年間商品販売額(億円)	969

(出典) H17年国勢調査, H12世界農業センサス
H16年工業統計調査, H14商業統計調査

土地利用



※その他：道路、公共施設、水面、自然地など
(H19.1.1新潟市調べ)

区の将来像

豊かな自然の中で人やものが交流する、安全で活力あふれるまち

区の担う役割

- 新潟東港を中心とした国際物流拠点機能及び新潟西港や空港との連携による国際交流拠点機能を担います。
- 新潟東港周辺を中心として、工業の拠点機能を担います。
- 豊かな自然環境と安全で快適な居住環境が調和し、やすらぎと潤いのある空間を提供する機能を担います。

目指す区のすがた

《新潟東港を中心とした物流と工業のまち》

- 新潟東港の港湾機能と恵まれた交通体系を活かして、北東アジアを視野に入れた、新潟東港背後地への物流関連企業の誘致を図ることで物流拠点のまちを目指します。
- 新潟東港周辺に工業集積を進め、雇用の場を創出することで活力のあるまちを目指します。

《多様な農水産物を供給するまち》

- 稲作をはじめ、砂丘園芸・ハウス園芸などの農業や沿岸漁業で、多様な農水産物を供給するまちを目指します。

《自然に恵まれた安全で快適な居住環境のまち》

- 福島潟をはじめ、阿賀野川などの河川、海岸線の白砂青松や田園風景など、豊かな自然環境や水辺空間を保全・活用することで、人と自然が共生し、市民が憩えるまちを目指します。
- 地域の防災・防犯機能を充実し、地域住民が安心できる安全なまちを目指します。
- 交通体系のさらなる充実を図ることにより、利便性の高いまちを目指します。

《やすらぎと潤いのあるまち》

- 地域・家庭・学校の連携により、自分の力に自信をもち、地域を誇れる子どもを育てるまちを目指します。
- 市民一人ひとりが生涯を通して自ら学ぶことで、豊かな心と生きがいを持ち、社会参画できるまちを目指します。
- 地域における支え合いを大切にし、子どもから高齢者までが安心して暮らせるまちを目指します。



福島潟

まちづくりに向けた施策の方向

(1) 国際物流拠点機能などの充実

① 地域間交通体系のさらなる充実と企業誘致

各地域間交流を支える幹線道路の整備を進めるとともに、物流関連企業の誘致を図ること
で、それぞれの地域の担う役割・機能を有機的
に結びつけ、人やものの交流を拡大させます。

② 港湾機能の整備

日本海側を代表する国際物流拠点港湾、エ
ネルギー供給基地としての機能が発揮できる
よう、新潟東港の港湾施設の整備及び港湾機
能の拡充を促進し、国際航路網の充実を図り
ます。

③ 工業集積の促進と雇用の拡大

新潟東港背後地の工業団地に多様な企業の
誘致を進め、工業集積を促進するとともに、
雇用の拡大を図ります。

(2) 魅力ある農水産業の推進

① 生産者と消費者の交流促進による地場農 水産物の消費拡大

生産者と消費者が近いことや地元商店・市(い
ち)の活用により、新鮮で安心・安全な農水産
物の地産地消を進めます。

生産者と消費者の交流を促進し、食育や健
康づくりにつながる環境づくりを進めます。

南浜地区において小型船だまりの整備を進め、
安全な漁業活動の実現を図ります。

(3) 豊かな自然環境の保全と活用

① 水と緑の保全と活用

福島潟など豊かな水辺や緑に囲まれた環境
を整備・保全し、安全で安心して暮らせる、緑
あふれる多目的な空間づくりを進め、市民生
活に潤いをもたらすとともに、環境意識の高
揚などを図ります。

(4) 安全で快適な居住環境づくり

① 防災・防犯機能の強化

水害や地震などの自然災害から住民の生命・
財産を守るため、コミュニティの地域防災機能
の向上を促進します。

国際化の進行に対応した防犯対策や交流・相
互理解を進めます。

② 交通体系の整備充実

地域内を連絡する道路の充実を図ること
での交通渋滞の緩和や、鉄道やバスなどの公共
交通の利便性を向上させることで、地域の
一体感の醸成を図ります。

(5) 学習環境の整備と福祉のまちづくり

① 学習環境の整備

福島潟民俗資料や地域の歴史資料などを収
蔵展示する施設を整備し、地域の文化遺産を
地域の誇りとして継承していくとともに、国内
外に広く発信していきます。

地域の独自文化の継承と創造に向けた市民
活動の場として、文化交流の拠点となる文化
会館の整備を進め、高度化する市民文化二
ーズへの対応を図ります。

区の生涯・競技スポーツの拠点となる多目的
運動広場を整備し、既存の体育施設と連携を

図りながら、いつでも気軽にスポーツ活動が楽しめる環境づくりを進めます。

②福祉のまちづくり

地域コミュニティの結びつきを強化・充実することなどで、地域における支え合いの仕組みづくりを促進し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

新潟医療福祉大学を福祉教育の拠点と位置づけて、市民参加型の福祉のまちづくりを進めます。



葛塚市

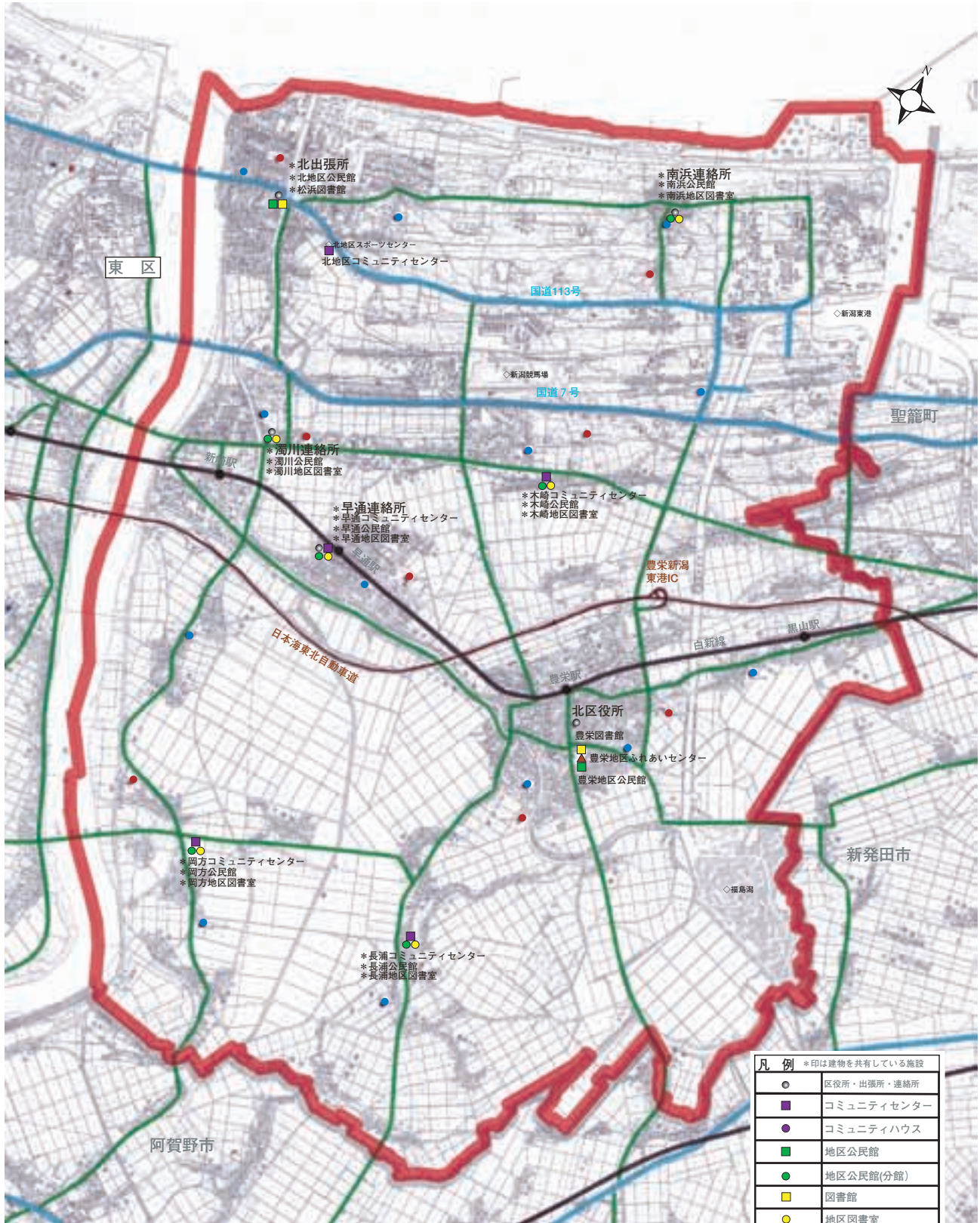


新潟東港コンテナバス



新潟東港物流団地

◆ 区の概況図 ◆



凡 例	
●	*印は建物を共有している施設 区役所・出張所・連絡所
■	コミュニティセンター
●	コミュニティハウス
■	地区公民館
●	地区公民館(分館)
■	図書館
●	地区図書室
▲	市民会館・コミュニティ施設等
●	中学校
●	小学校

基本計画
1 総論
2 重点プラン
3 施策別プラン
4 区ビジョン基本方針